

愛知医科大学病院皮膚科を受診している患者さんへ

当院では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会で倫理的観点及び科学的観点から中立的かつ公正に審査され、研究機関の長に認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。この研究へのご質問や研究に係る相談だけでなく、個人情報の開示を希望される場合、研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧を希望される場合は、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。研究計画書等は、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で閲覧が可能です。

記

| | |
|-----------------------|--|
| 研究課題名 | 手掌多汗症患者に対する塩化アルミニウム製剤と抗コリン外用剤の有効性、安全性の比較 |
| 研究機関の長(試料・情報の管理責任者) | 愛知医科大学病院 病院長 天野哲也 |
| 研究責任者 | 薬剤部 部長 大西正文 |
| 研究の対象となる方 | 2023年6月1日から2025年3月31日の期間で、汎用、塩アル水、汗軟膏のいずれかとアポハイドローションを処方された手掌多汗症の患者さん |
| 研究期間 | 研究実施承認日～2026年3月31日 |
| 研究目的及び利用方法 | <p>〔研究目的〕 従来、当院では手掌多汗症の治療に汎用、塩アル水、汗軟膏などの塩化アルミニウムという成分が含まれた薬が使用されてきました。2023年6月1日に新たにアポハイドローションという製品が販売され、使用される機会が増えています。塩化アルミニウムが含まれた薬と、アポハイドローションの有効性(発汗量)と安全性(副作用)を比較することを目的としています。</p> <p>〔利用方法〕 研究対象患者さんの診療録(カルテ)内にあるデータを使用して、発汗量や副作用発現についての調査を行います。</p> <p>〔外部への試料・情報の提供〕 非該当</p> <p>〔外部への提供開始日〕 非該当</p> |
| 研究に用いる試料・情報の取得方法及び項目 | 試料：非該当 情報：カルテから、年齢、性別、処方薬、発汗量、副作用発現の有無等について収集します。 |
| 提供する試料・情報を用いる学外の研究責任者 | 非該当 |
| 試料・情報を利用する学外の者 | 非該当 |
| 試料・情報の利用又は提供を希望しない | 本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、2026年2月28日までに電話により下記問い合わせ先まで申し出てください。 |

| | |
|--------------|---|
| 場合 | |
| 外国への試料・情報の提供 | 非該当 |
| 問い合わせ先 | 愛知医科大学病院 薬剤部 担当者：薬剤師 鈴木健 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1 電話 0561-62-3311 (内線 34220) |